

巻 頭 言

富山県高等学校教育研究会
情報部会長 谷内 祥訓

富山県高等学校教育研究会情報部会の会員各位におかれましては、日頃から本県高等学校情報教育ならびに本部会活動に並々ならぬご尽力をいただいていることに対し、心から感謝申し上げます。また、本部会の事業に際し、富山県教育委員会県立学校課を始めとして関係機関からもご指導をいただいていることに対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、教科「情報」は平成 15 年度（2003 年度）から実施され、本部会は高教研全体の趣旨に沿って、情報教育の振興・学理の探究を目的とし各種事業を行っているところです。

I C T機器の導入が本県におきましても進みつつある中、教科情報を中核としての情報教育の一層の振興や、各教科においては学習指導の改善を図るための情報機器の有効活用が求められています。

現行の学習指導要領における共通教科情報科の目標は、「情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる」となっています。これまで各学校ではさまざまな取り組みがなされてきましたが、今後の情報教育は、社会の情報化の著しい進展や変化に対し、将来生徒が自立して主体的に対応することができる能力と態度を育てるための基礎基本を養うことが一層求められると考えます。

例えば、課題の発見や解決の過程をとおして生徒の主体的・対話的で深い学びの中で思考力、判断力、表現力等を育成したり、多様な見方を育てるためのペア学習やグループ学習、発表や討論などにより言語活動の一層の充実を図るなど、情報機器を単なる「ツール」としてではなく、いかに「活用」させるかにかかってくると考えます。

今年度、本部会では雄峰高校岩城透先生、砺波高校東海直樹先生の発表、南砺福野高校小林悠樹先生の報告、長野大学和田勉先生、上智大学新井範子先生の講演がありましたが、本部会としましては、こうした県レベルでの研究発表や講演を各学校での指導改善に生かすなど、会員相互が情報教育の一層の充実を図る糸口を見つけるためのアンテナを高くすることが大切であると考えます。

会員の中には、他教科との兼務であったり、ネットワーク管理を担当するなど、業務が多岐にわたる場合もあるかと思いますが、本部会の一層の充実、発展のためのご理解、ご協力を引き続きお願い申し上げます。